

科目名		血液検査学演習	教員名	山口孝一	学科等	臨床検査	選択	履修年次	4
(科目番号)		(時間割参照)			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
					授業形態	演習	オフィスアワー	月曜日5限	
授業概要		臨床血液学、血液検査学、血液検査学実習、そして臨地実習で習得した知識を整理し、さらに総合的な知識や理解力を高めるための学習である。臨床で血液検査学を行える基礎的な知識を身につけられるように演習する。							
目的・目標		目的:臨床における血液検査学および検査データと疾患との関連を総合的に理解する。 目標:①血液検査学に関連する知識、技術を総合的に理解できる。 ②血液検査により得られたデータと疾患との関連を理解できる。							
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目		到達目標・学習内容					
	1	血液の基礎		到達目標:血液の成分、性状、機能、産生と崩壊について理解する。 学習内容:血液の成分、性状、機能、産生と崩壊を包括的に学修する。					
	2	血球		到達目標:赤血球、白血球、血小板について理解する。 学習内容:赤血球、白血球、血小板を包括的に学修する。					
	3	止血機構		到達目標:止血栓の形成、血管・血小板機能について理解する。 学習内容:止血栓の形成、血管・血小板機能を包括的に学修する。					
	4	凝固・線溶系		到達目標:凝固、線溶、分子マーカーについて理解する。 学習内容:凝固、線溶、分子マーカーを包括的に学修する。					
	5	血球に関する検査		到達目標:血球計測法、赤血球沈降速度、溶血検査について理解する。 学習内容:血球計測法、赤血球沈降速度、溶血検査を包括的に学修する。					
	6	形態に関する検査		到達目標:塗抹標本、普通染色、特殊染色について理解する。 学習内容:塗抹標本、普通染色、特殊染色を包括的に学修する。					
	7	血小板、凝固・線溶系検査		到達目標:血管・血小板機能検査、凝固・線溶検査について理解する。 学習内容:血管・血小板機能検査、凝固・線溶検査を包括的に学修する。					
	8	赤血球系疾患の検査結果の評価		到達目標:貧血、赤血球増加症、赤血球形態異常について理解する。 学習内容:貧血、赤血球増加症、赤血球形態異常を包括的に学修する。					
	9	白血球系疾患の検査結果の評価		到達目標:白血球増加症、白血球減少症、白血球形態異常について理解する。 学習内容:白血球増加症、白血球減少症、白血球形態異常を包括的に学修する。					
	10	造血器腫瘍系の検査結果の評価		到達目標:造血器腫瘍の分類、病態について理解する。 学習内容:造血器腫瘍の分類、病態を包括的に学修する。					
	11	血栓止血検査結果の評価		到達目標:血小板減少症、血小板増加症、血小板機能異常症について理解する。 学習内容:血小板減少症、血小板増加症、血小板機能異常症を包括的に学修する。					
	12	臨床血液学・血液検査学 総合1		到達目標:血液の性状・検査・疾患を総合的に理解する。 学習内容:血液の性状・検査・疾患を総合的に学修する。					
	13	臨床血液学・血液検査学 総合2		到達目標:血液の性状・検査・疾患を総合的に理解する。 学習内容:血液の性状・検査・疾患を総合的に学修する。					
	14	臨床血液学・血液検査学 総合3		到達目標:血液の性状・検査・疾患を総合的に理解する。 学習内容:血液の性状・検査・疾患を総合的に学修する。					
	15	臨床血液学・血液検査学 総合4		到達目標:血液の性状・検査・疾患を総合的に理解する。 学習内容:血液の性状・検査・疾患を総合的に学修する。					
成績評価の方法・基準		期末試験（100％）（対面・オンライン共通）							
教科書		最新 臨床検査学講座 血液検査学			奈良信雄、他 編著			医歯薬出版	
参考図書									
教員からのメッセージ		昨年度の授業評価アンケート結果に基づく改善をします。 医療提供施設で勤務した臨床検査技師がこの授業を担当します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。							